

## 作業療法-activity-についてのご紹介

作業療法とは、作業活動を通して身体機能や精神機能の回復や生活能力の獲得を図っていくものです。その治療のひとつに activity(アクティビティ) というものがあります。activity とは広義の意味では「生きる」「活動する」「楽しむ」となっています。私たちは「楽しみながら活動する」ことを通して治療に役立てています。

当院では activity の為の様々な道具を取り揃えておりますが、今回は「革細工」「スティック手芸」「エコクラフト」を紹介したいと思います。

「革細工」は自分でデザインを考えることで頭の活性化を図ります。工程の中の一つに、ハンマーを用いて細かい穴をあける部分があります。指先の細かい動作やハンマーを危険なく使用するためには注意・集中力が求められます。

「スティック手芸」はアイスの棒の様なスティックと接着剤だけを使用し、組み合わせ次第でペン立てや籠などを作成することができます。片手でも行えるので、身体機能に合わせて難易度を調節できます。また、お裁縫や編み物には抵抗のある男性でも受け入れが良好です。

「エコクラフト」はクラフトテープという紙製のテープを使用し、針や糸を用いずにテープを編んでバスケットや小物を作成します。見本を見ながら編み方を考えたり、色を変えたりとオリジナルの作品が出来るので、ご家族にプレゼントされるととても喜ばれます。「私が作ったのよ」と笑顔で作品を見せて下さったり、「孫にあげたいの」と複数個作成される方もいます。

長期療養が必要な方には一日5分程度でも気分転換になりますし、集団で行うことで他の患者様とのコミュニケーションのきっかけにもなっています。今後も、指先の機能練習を行いながら頭も心も活性化できるように activity を提供していきたいと思っております。

(平成の森・川島病院 リハビリテーション科 作業療法士 鈴木結花)

## 北海道の郷土料理『いももち』に『三平汁』を作りました

介護老人保健施設平成の森では、利用者様により満足していただけるサービスを提供するため、平成28年度から月に1回『郷土食』を実施しています。通所リハビリテーションの利用者様に各地の特産物を使用した料理や伝統的な郷土料理を提供しています。

5月は北海道の郷土料理である『三平汁』と『いももち』を提供しました。三平汁は塩漬けた魚と、根菜類を煮こんだ塩味の汁物で、200年も前から食べられていた料理だそうです。『いももち』はじゃがいもに片栗粉をまぜて餅状にした料理で、地元でも愛されている料理です。

調理は通所のスペースで行っているため、部屋中に広がった香りが利用者様の食欲を刺激したようでした。「美味しい」「もっと食べたい」という声を沢山いただくことができました。

また、一部の利用者様には調理をお手伝いいただき、レクリエーションとしての役割も果たしています。今後も喜んでいただけるような料理を提供し、利用者様には全国各地の食事を通じて、それぞれの土地に思いを馳せていただけたらと思っています。

(介護老人保健施設 平成の森)



革細工



スティック手芸



## 花いっぱい病院を目指します



先日、園芸部にて駐車場に花のプランターを設置しました。正面入り口から駐車場へとつながる道に並べ、まるで花の道になりました。前々から駐車場が殺風景で寂しいと思っており、やっと設置することが出来てとても嬉しいです。今回植えた花はマリーゴールドとペチュニアで、黄色とピンクの花がプランターから溢れんばかりに咲いています。これを機に、これからも季節の花を植えて、皆さんに楽しんでいただければと思っています。

また、正面玄関脇の一角の花壇も大胆に改築しました。アーチを設置したり、レンガの飛び石で花壇の中を散歩できるようにしたり…目指すは西洋のガーデニング庭園！ ですが、植えたばかりの花が多く、咲き乱れるのを待つばかりです。夏ごろには綺麗な庭になっていることを想像しながら、日々お手入れをしています。

## かわじま春まつり、健康福祉祭りに参加して

今年度、川島ロイヤル・ワム・タウンは初めて春まつり・健康福祉祭りに参加させて頂きました。老健施設「平成の森」はケーキと飲み物の販売、川島病院は動脈硬化検査を行いました。生活習慣病やメタボリック症候群の予防で重要なのは心筋梗塞など動脈硬化性疾患の発症を予防することです。検査に関心がある方が多く検査参加人数48名（男性15名女性33名）平均年齢65.4歳でした。検査の結果を聞いて喜ぶ人・少し残念そうな人様々でした。結果が良い人は「私は毎日体操をしているからかしら」などの声を聞きながら結果の良い人・悪い人も健康には注意していきたい思いは同じだと感じました。

たくさん方に参加して頂き本当にありがとうございました。川島病院も地域の方々の健康の手助けになるようにこれからも努力していきたいと思えます。

(平成の森・川島病院 師長 青木 郁子)



## 新医療相談員紹介



今年の4月から地域医療連携室所属になりました。医療福祉相談員の布施修平です。福祉の仕事に興味があり、相談の仕事がしたいと思い、平成の森川島病院で医療福祉相談員になりました。趣味はロードバイク、特技はバドミントンです。

最初のうちは、仕事を覚えることで精いっぱいだと思いますが、早く仕事を覚えて様々な業務をこなせるようになりたいです。医療福祉相談員として利用者の方に頼られるような存在になりたいです。今は何かと不慣れで、しばらくはご迷惑をおかけする点多いと思えますが、よろしくお願いいたします。



4月1日より平成の森・川島病院の医療福祉相談員として入職いたしました大野ななえです。今まで川島という街にはあまり縁がありませんでしたが、のどかで落ち着く所だなと感じています。通勤時に見える沢山の桜や菜の花がとても綺麗で、新天地でのいいスタートが切れた気がしました。

前職は急性期病院で相談員をしていましたが、回復期・療養型病院は初めてですので、早く仕事に慣れていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。